

<p>養護</p>	<p>【生命・情緒】</p> <p>基本的な生活習慣が自立する中、丁寧に見直しながら生活してきました。活動内容や場所に合せて自発的に衣服を調節したり、感染症の予防を意識して手洗いうがいや丁寧な姿勢は4月から日常的に見られます。その中で、健康であるためにどう過ごしたらいいのかを考えて行動する姿も増えました。情緒面では、友達や保育者との関わりを通して、集団の中でひとりひとりが安心して自己を発揮し、認められながら自信を深め、自己肯定感を育んできました。行事前は当日が近づくとつれて其期待が膨らむ一方、不安を抱える子もいました。周囲の人に声をかけられるから前向きに元気で過ごす姿が見られました。基本的に全員の情緒が安定し、楽しく毎日を過ごすことができました。</p>
<p>教育</p>	<p>【健康・人間関係・環境・げんご・表現】</p> <p>(①健康な心と体②自立心③協同性④道徳意識・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然と関わり生命尊重 ⑧数量・図形・標語や文字等への関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現)</p> <p>年長児では、就学に備えるため、1年間を通して上記の「10の姿」を意識して身振り組んできました。子どもたちが主体的に自信を持ち取り組む姿を大切に、できることは自分でしょうとする姿や、分からないことやむずかしいことは(保育者や友達に)聞いてはから米粘り強く身振り組む姿を言え、受け入れていくことで、大きく自立心が養われていることを実感しています。</p> <p>人間関係では、友達と積極的に関わり、相手に分かるように自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを理解して自分の思いや言い方を伝える姿勢が増えました。友達との関わりが深まると、ぶつかり合いによることももちろんありますが、何かあった時はしっかり話し合い、時に気持ちを我慢するなどは、より分かり合えるようになってきました。主体的に身振り組んで「運動会、発表会、おたけじんご」などの行事にだけでなく、日々の遊びや生活の中でも、みんなの目的や願いを共有したから、話し合ったり、考えを一つにまとめる姿があります。友達の様々な形に角取れることで、新しい発見があったり、いい刺激にもなっています。また、活動の中で自分の得意さを伸ばして行動するなど、達成に向けて協力する楽しさや充実感を感じたからやり遂げる姿が見られました。</p>
<p>食育</p>	<p>苗を植え育て、そして食べるというなかよし菜園の取り組みは、毎年子どもたちも楽しんで参加しています。今年も毎日生長を楽しみにし、そして収穫できる喜びを味わいました。たっぷり収穫した新鮮な野菜を給食でその日に食べることは、食に対する関心を深める1年最後の行事になりました。また、つつまいも、落花生も育て、収穫までの過程を知り、食べ物の恵みは、感謝の気持ちを感じました。下半期には、具体的に食べているものにどんな「はたらき」があるのか、を考えてきました。毎日の給食で食べるものを、「赤・黄・緑」の栄養素に分け、今では全員の子が分類できるようにもなりました。</p>
<p>その他</p>	<p>まじに。食事マナー、行事食、フックンク、給食の先生のお手伝い。(どうもろしの皮むき等)も経験済み、この1年で食に対して大きく興味や関心を深められています。</p> <p>全ての行事に「園生活最後」という言葉が過ぎる中、新型コロナウイルス 拡大の影響がありながらも、子どもたちは自分の力を存分に発揮し、楽しむ姿、喜びの顔がたくさん見られました。初体験に「お泊り保育、阿波踊り」は3月にはじめての話題に十分な程、子どもたちの言を心に強く残っている様子です。年長児ならではの行事を存分に楽しみ、その中で仲間意識も更に深まるとも思っています。もうすぐ1年生になる原組さん。期待は月毎に膨らませる一方で、新しい環境に少し不安や戸惑いもあるかもしれませんが、保育園で集団生活をしてきたことを自信に楽しんでほしいと思います。頼もしく安心して送り出すことができそうです。この1年間、温かい言葉、サポートがありがとうございました。</p>